



トビウオは、どうして空を飛ぶの

敵からにげるため空を飛ぶ

トビウオは、ふつうに水中を泳いでいるときは、ひれ(つばさ)をすぼめているので、あまり目につきません。でも、ひれを広げてみると、その大きさにびっくりします。全部のひれを広げると、トビウオは、まるで、グライダーのような形になります。

トビウオは、大きな魚などの敵に追われると、ひれを広げて空中に飛び出します。風上に向けて、1秒間に10メートル以上のスピードで、空中に飛び出すと、水面近くを、100メートル以上も水平に飛び続けることができます。飛んでいるときは、胸びれ(つばさ)をはばたきません。グライダーのように、空をすべるように飛びます。

トビウオの空中飛行のしくみ

トビウオは、胃が小さく腸も短かく、体内に食べた物が残って体が重くなるのを防ぐ、体のつくりをしています。せんすのように折りたたまれた胸びれを広げると、飛行機のつばさのようになります。広げた腹びれは、水平尾翼、おびれは垂直尾翼の役目をします。

空中を飛ぶときは、まず、体を空中に出し、胸びれのつばさを広げ、水面に残ったおびれを激しく動かしてスピードを上げていき、空中に飛び出します。(監修・安部 義孝)

